

基山町議会だより

2025年
August

8

Vol.94

基
肄
城

き
い
じ
ょう

特集

子どもたちを
取り巻く環境

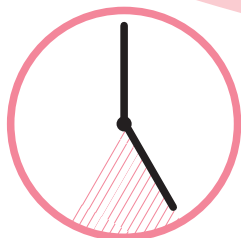


笑顔をつなぐ、夕ごはん

「ここてらす」にて

取り巻く環境

子どもたちを包む社会は、親の働き方や物価高騰などにより日々変わり続けています。
今回はそんな子どもたちの今に目を向けました。



放課後の居場所づくり



静かな声に、強い意志 入江 航さん

「ここてらす」の取組
5年前から、町内でひとりの青年が子どもたちの居場所「ここてらす」を始めました。運営しているのは、入江航さん（25歳）。
今年の4月からは、場所を町営住宅アモーレ・グランデ基山の前に移し、新しい活動にも取り組んでいます。
「ここてらす」は、入江さんの私費や寄付によって支えられていて、今は毎週月・水・金曜日の夕方5時から夜8時まで開かれています。

「ここてらす」には、幼稚園生から高校生まで、毎回20人ほどの子どもたちが集まってきます。みんなで勉強したり、ごはんを食べたりしながら、楽しい時間を過ごしています。
ごはんを使う食材は、地域の方からいただいたお米や野菜などの寄付が中心。入江さんも「本当にありがたいです」と話していました。調理はボランティアの方々が手伝ってくれていて、地域のみなさんの力で「ここてらす」は支えられています。

勉強したり、ごはん食べたり



お菓子片手に、ほっとひととき



思わず足を止める、「ここてらす」の看板

議会や行政に伝えたいことは？
入江さんは、「将来的には毎日開けるようにして、もっと子どもたちの居場所の選択肢を増やしていきたい。土曜や日曜の昼間には、勉強ができる場としても使ってもらえたら。」と、今後の目標を話してくださいました。
最後に「議会や行政に伝えたいことはありますか？」と尋ねると、「運営への補助と連携強化。居場所の現状や、基山町において居場所の機能や役割を一緒に考えていきたいです。」と、静かに、でも力強く思いを語ってくださいました。

学校での取組

学校という場所は、子どもたちが一日の多くを過ごす場所です。

近年、特に深刻となっている問題のひとつが「いじめ」です。スマートフォン等の普及により、SNS上のやりとりがその発端になるなど、問題が深刻化するまで発見しづらいケースも出てきました。幸い町立小中学校では、これまで重大事態にあたるものはありませんが、各学校ではいじめの早期発見と支援、防止に取り組んでいます。

心の健康観察

「心の健康観察」は、各自の端末画面上に毎朝表示される4つの選択肢から、児童・生徒自身がその日のメンタルヘルスに合うものを回答し、教職員が結果を確認できるものです。不調の早期発見などが期待でき、今年度から町立小中学校で導入されています。

された子どもが
「いや」と思ったら
それは『いじめ』

基山中学校

R6年度
いじめ報告件数



65件

- ・令和6年12月9日～13日を**人権週間**に設定期間中、朝の時間に人権に関わる作文を朗読
- ・**人権集会**を開催
SNSにおける人権侵害についての講話を聞く
- ・**ソーシャルスキルトレーニング**を朝の時間に実施

基山小学校



250件

- ・全校集会で「いじめとは」の校長講話
- ・**人権集会**を開催
人権・同和教育担当や人権擁護委員の話
各クラスからの人権標語発表 など

若基小学校



52件

- ・**人権集会**を開催
人権擁護委員から「人権とは」についてのお話と紙芝居の読み聞かせ
各クラスからの人権標語発表

その他、年2回のいじめアンケートの実施や道徳・学級活動での学び、ふれあい道徳などは各校共通して行われています。

誰にも言えないこと

聞いてほしいこと

心からいじめをなくす

児童・生徒と保護者のための
電話相談

心のテレホン

0952-30-4989 365日
24時間

名前はお聞きしませんので、お気軽にご相談ください

24時間子供SOSダイヤルもご利用ください

0120-0-78310 ※IP電話からのご利用はできません

佐賀県教育委員会

デマンドタクシー4回目の実証実験

1560万円

基山町では高齢化が進む中、移動弱者増加にそなえ地域公共交通の充実を図るため、取り組み強化の最終実証実験を行います。

実施期間 9月～11月予定

今回の実証実験での新たな取り組み予定

1. 土曜日の運行（前回までは平日のみ）
2. 予約システムの緩和
（事前予約、往復予約を追加）
3. 相乗り割引を検討中

住民から運行時間延長希望の声も多数あるので検討して欲しい



地域農業の中核となる担い手に補助金

228万円

融資等を受けて経営改善の取り組みに必要な農業機械等を導入しようとする（認定農業者、認定就農者等）に対して、国・県の交付要綱に基づき支援を行います。

コンバインなど高額な農業用機械の更新は負担が大きく、離農の要因となっています。

補助率は、事業費の30%以内で、300万円が上限です。

Q 事業対象者の範囲を拡大できないか？

A 基山町の地域農業の振興を図るためにも、状況にあった制度の見直しを含めて検討していきたいと思っています。



小 中学校の指導者用パソコン135台を購入

2486万円

小中学校の教員用パソコンのリース期間が終わり、より便利に使える新しいパソコンに入れ替えます。



指名競争入札13社中辞退が7社、
欠席は2社でした

指名入札を欠席した業者
へは、ペナルティやヒア
リングが必要では？

中 学校プール跡地、地権者へ返還

小学校では水泳の授業を民間水泳教室に委託して、使われなくなった基山小学校のプールを中学生が使用します。

老朽化した中学校プールは解体して、更地に戻し地権者に返還することになっています。

しかし、中学校体育館の建替えが検討されていて、仮設等のために用地は必要になります。

議会では土地の購入も含め、将来を見据えて地権者と協議するように提案しました。



解体が決まった中学校プール

物価高、みんなで乗り越える支援策！

総事業費 998万円



令和7年度「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」が交付されました。

国が788万円を出し、町が210万円を負担します。

高齢者も子育ても、みんなの笑顔も大切に。

No.	事業名	事業内容	事業費
1	配食サービス利用者緊急支援事業	高齢者の食を支える配食事業者を、物価高と施設面でサポート。	140万円
2	保育所等給食費支援事業	物価高でも、子どもたちにいつもの給食を。保護者負担はそのまま。	340万円
3	小中学校給食食材費補助事業		317万円
4	小中学校校外活動費補助事業	町立小中学校の修学旅行費などを補助し、負担を抑えます。	81万円
5	農業共同機械利用組合等支援事業	米麦共同乾燥施設の継続運営のため、電力・燃料費を補助します。	120万円

選任に同意した委員

基山町固定資産評価審査委員会委員

(基山町の固定資産税評価額に不服がある住民の申し立てを審査します)

おおぐしのりみつ
大串 法光 氏(宮浦)

任期：令和7年7月1日から令和10年6月30日まで



第2回定例会

私の判断（議案の採決）

（ ○ 賛成 × 反対 ）
※議長は採決に加わりません

		工藤 絵美子	水田 志保	中牟田 文明	佐々木 教雄	中村 絵理	天本 勉	松石 健児	大久保 由美子	桑野 久明	重松 一徳	大山 勝代	松石 信男	会議の結果
令和7年度 補正予算	一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例改正	職員の勤務時間、休暇（他3件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
同意	固定資産評価審査委員会委員選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
意見書の結果	少人数学級 教職員定数の改善													採択

第2回臨時会

補正予算	一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
承認	専決処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認

■ 第2回臨時議会の内容（4月23日） ■

R6年度 一般会計補正予算

1億3664万円 増
(総額100億5895万円)

災害時の避難所での簡易トイレを10台準備 **255万円**

災害時の高齢者や障がい者の「避難行動要支援者管理システム」を整備 **1138万円**

ラインやチャットにより、やりとりができる体制をつくり迅速な避難支援につなげます。

R7年度 一般会計補正予算

1億964万円 増
(総額91億9364万円)

議会の視聴環境整備 **4090万円**

議会の見やすさ・聞きやすさ・分かりやすさを向上し、町民の皆様の関心、参加意識の向上と町民ニーズが反映される議会運営につなげます。

休日議会アンケート結果

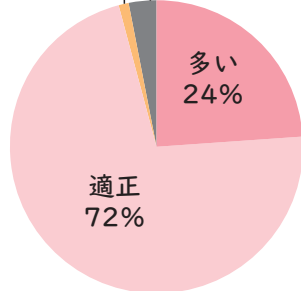
傍聴者数 96人
回収数 72件

基山町議会は、町民に開かれた議会を目指しています。

町民の声を議会改革に反映させるため、今回休日議会の傍聴者へアンケートを実施しました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

問1 議員定数13名についてどう思うか

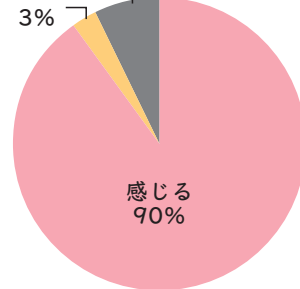
少ない 1% 無回答 3%



約7割が適正と回答

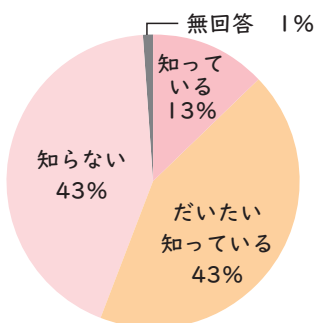
問2 基山町議会の議員に親しみをを感じるか

感じない 3% 無回答 7%



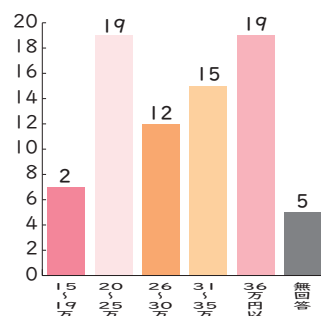
9割が親しみを感じています

問3 基山町議会議員の月額報酬を知っているか



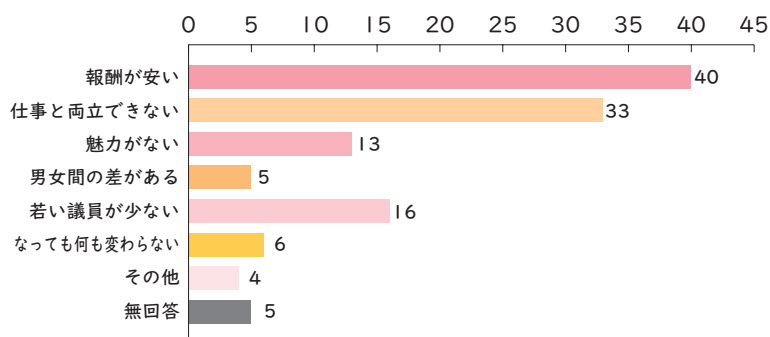
知っている・だいたい知っている5割、知らない4割と、議場に来ている方でも知らない方が多い結果に

問4 自身が基山町議会議員だとしたら、月額報酬はいくらぐらいが適正だと思うか



「年齢で差をつけては」「議員定数を減らし報酬を増やしては」などの声もありました

問5 議員のなり手不足問題は、何が原因だと思うか



その他の内容など

- ・子育て世代の議員にとって、生計を立てるには報酬が安すぎる
- ・議会、議員に対する理解が不十分
- ・仕事が大変そうで評価が低い

議員一本でも生活出来るようになると活動的にできる。報酬が少ないと若い議員は生活出来ないからなり手がいない。(40代男性)

女性の傍聴者が多くて、基山の議員の女性の頑張りを感しました。せっかくの休日議会なので、若い方の出席が望まれる。各議員さんからの声かけを期待します。(70歳以上女性)



早期の延伸を望む
1級町道塚原・長谷川線

A 優先順位は決まっていなくて、黒谷線に対しては、早期の延伸を望みます。

Q この2路線の優先順位は、

A 周辺の交通体系や新たな状況の変化を見極めながら検討していきたいと考えています。

Q 黒谷線と塚原・長谷川線の延伸についてこれまでの検討は、



Q 道路の延伸で何が見込まれる

A 交通の利便性と周辺の土地利用



桑野 久明 議員

て塚原・長谷川線については周辺状況の変化を考慮することは少ないため、より現実的と考えています。

Q 塚原・長谷川線の延伸の到達点はどこまで、又、工事完了までのくらの期間を要しますか。

A 当初の都市計画道路の構想は鳥栖市弥生が丘までとしていましたが、標高の高低差が大きく計画が困難であることや、町外からの通過交通量が増すことから、途中までの延伸を考えております。基本設計から工事完了まで6年程度要すると考えております。

要望 ルートの選定は、その後の周辺土地利用を考慮し、都市計画マスタープランを再検討したうえで、基山町にとって有益なものを早期に完成させるよう求めます。



Q 町営プール建設の構想は

A 諦めたわけではない



大山 勝代 議員

Q 令和3年度、別の議員が町営プール建設の質問をした。その時の回答から、今回の学校教育での水泳指導の在り方が変わった中で、改めてプール建設の具体化は考えられませんか。

A 諦めたわけではなく、バイオマス施設から発生する熱利用での温水プール建設は難しいため、今は他の手法での再検討を行っています。

Q 本年度から、基山・若基小学校の水泳指導が町外民間施設の委託に移行する。以前と比較して指導時間が少ないと感じる。移動も含めた8時間ではたして目標達成ができるのでしょうか。

A 複数の専門のインストラクターの指導で、技術の向上が期待できると考えています。



民間の施設

A 低学年は『水の中で潜ったり浮いたり楽しく行う』、中学年は『け伸び』や初歩的な泳ぎができる、高学年は『クロールや平泳ぎの技能を身に付けること』となっています。

Q 学年ごとの望ましい到達点は、どうなっていますか。



基山中央公園



Q

ガイダンスセンター住民合意で
住民の意見を聞く



まつ
いし
のぶ
お
松 石 信 男 議員

Q ガイダンスセンター建設候補地の一つである中央公園には樹木があり図書館がある。建設によりその環境が後退する懸念がある。また、建設は住民合意ですべきだ。

A 図書館は町の宝。図書館の良さを失わないように、建てることで相乗効果が出るようにします。

低所得者には利用料減免を

Q 来年から始まる「こども誰でも通園制度」は、対象が6か月から満3歳未満児で、1時間300円、ひと月10時間まで利用できるが、低所得者には減免が必要ではないか。

A 制度の詳細が出次第、精査研究します。

Q 在園時間や利用頻度が違う乳幼児が出入りを繰り返すことになれば不安やストレスが大きい。保育士や職員の労働条件の確保が必要だ。

A 労働条件の確保は配慮します。専任の職員配置はありませ



Q

熱中症対策としての体操服登校は
生徒会役員で今後も検討を続ける



く
どう
えみこ
工 藤 絵美子 議員

Q 令和6年12月議会で質問した熱中症対策のための中学生の服装の検討結果について説明ください。

A 公の場にふさわしい服装をする必要があることを教えるために、学校としては原則、夏服を着用させたいと考えています。

Q 近年の異常な猛暑を考慮すると、より生徒の安全に配慮した上で、柔軟に捉え直す必要があるのではないのでしょうか。

A 生徒会役員に意見を聞いたところニーズはあるようです。試用期間の設定も含め、今後も協議を続けてもらうよう学校にお願いしています。

5歳児健診の実施について

Q 4歳児特性検査が今年で10年



子どもたちの健やかな成長を

A 4歳児特性検査自体は評価できるものだと思うので、5歳児健診も加味しながら、もっといい成果が出せるように今後も協議していきたいと思っています。



危険な空き家は早急に解体を

まず所有者による解体が第一



重松 一徳 議員

Q 町内の危険な空き家の状況はどうなっていますか。

A 3件ありましたが、2件は除却され、1件残っています。

Q 台風等で近所に損害を与えた場合は誰の責任になりますか。

A 所有者に賠償の責任があります。

Q 町に責任が発生しませんか。

A 適切な指導で問題ないです。

Q 町中心部の危険な空き家です。いつまでに撤去するように指導しているのですか。

A 早めの解体をお願いしています。

Q 年内に解体・除去がされない場合、行政代執行をする考えはないですか。

A 行政代執行は考えていません。



危険な空き家、早急に撤去を

Q デジタル機能を活用して、記録保存が出来ませんか。

A 技術を見極めて保存できるように検討していきます。



防災・減災のため河川の浚渫を

A 県と協議し、進めてまいります



天本 勉 議員

Q 基山町内の河川の維持管理状況はどうなっていますか。

A 町内には、高原川・関屋川・実松川・秋光川・山下川の5つの一級河川があり、維持管理は県の東部土木事務所が行っています。

Q 地域からの河川の浚渫要望や護岸の破損の報告があった場合、対応はどうしていますか。

A 町から土木事務所へ連絡し、現地立会を行い対応を要望しています。土木事務所も、月一回河川の巡回を行っています。令和7年度は、秋光川と山下川を浚渫する計画となっております。

Q 総務省の「緊急浚渫推進事業」について、農業用排水路に係る浚渫を対象事業に追加した上で、令和11年度まで5年間延長されています。

A 関係者への周知を含め、町内の水路の浚渫を今後どのように進めていきますか。

A 町内には大きな農業用排水路は少ないですが、関係団体を含め、事業の周知に努めてまいります。※浚渫とは：水底の土砂を取り除く作業のことです



背丈以上の葎が繁っている山下川



集積所のごみ収集

- A** 個別収集は約670か所、従
- Q** 個別収集は何か所ですか。
- A** 約4ー7か所あります。
- Q** ごみ集積所は何か所ですか。
- ごみ収集は、基本の集積所収集と個別収集をしています。住民には個別収集の方が利便性が高く、ごみ収集方法の再検討が必要ではないかと思ひ質問します。



Q ごみ収集をどう進めて行くのか

A 不公平感を持たれないよう進める



なかむた ふみ あき
中牟田 文 明議員

来から個別収集の方と、現在は高齢者世帯など、排出が困難な方を個別収集しています。

Q 従来から個別収集されてある方を集約しステーション方式にすることはできませんか。

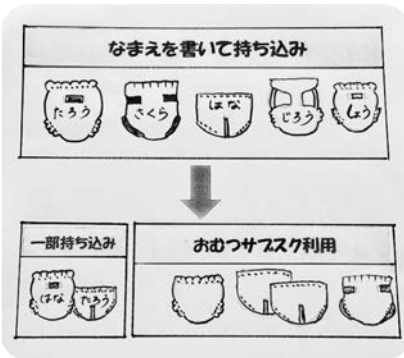
A 個別収集の地区と話したことは無く、難しいと思われまふ。

Q 今後、ごみ収集をどう進めていきますか。

A ごみの排出状況を整理し、不公平にならないような仕組みを考へる必要があると思ひています。

自治会未加入者について

未加入者の自治会管理ごみ集積所使用料を、地裁が活動費を含め算出(年1万5千円)しています。その所感を聞ひています。



おむつの個別管理が軽減

- Q** おむつサブスクを利用する保育施設が増えています。仕組みと町内保育施設の導入状況は。
- A** 保護者と業者の契約により、月額定額制で、直接保育施設へ紙おむつやおしり拭きが届きます。利用料は保護者が支払ひます。町内では一か所導入されています。
- Q** 保護者のメリットは何ですか。
- A** 紙おむつの買い忘れや毎日おむつ5枚に名前を記入し、保育施設へ持参する手間が軽減されまふ。



Q 基山保育園に、おむつサブスクを利用希望者があれば導入する

A 利用希望があれば導入する



おおくぼ ゆみこ
大久保 由美子議員

設へ持参する手間が軽減されまふ。

窓口の受付時間の短縮の考えは

Q 各種証明書等の役場窓口とコンビニでの交付件数は。

A 令和6年は窓口交付16895件、コンビニ交付2772件、併せて19667件でした。コンビニ交付は年々増えています。

Q 行政のオンライン申請の普及やコンビニで証明書の取得、職員の働き方改革など、窓口の開閉時間を午前9時から午後5時までなど短縮する自治体が増えています。本町の見解を質問します。

A マイナンバー更新など町民のニーズに應へるために、受付時間の短縮は難しいと考へています。



Q 宿泊施設誘致の予定は

A 近隣市町が温泉など充実している



ささき のりお
佐々木 教雄 議員

新設組織のプラチナ社会政策課と商工観光課の意気込みを尋ねました。

Q プラチナ社会政策課について

A 一人暮らし高齢者、特に引きこもりがちな方の支援策は。

A まずは実態把握を行い、生活支援コーディネーターを通じ様々なイベントの参加をうながし、一人ひとりにあった対応を行います。

Q 商工観光課について

A 新規事業創業にあたっての支援体制は現状の支援策は小粒であり、大きな成果が望めないのでは。さらに大胆な体制を組むことはできませんか。

A 商工会、金融機関と連携し、創業者の立場にたつてつないでいきたい。さらにセミナー開催を行います。



優良企業の誘致を期待
(建設中のいちご農園)

い、フロアアップを行っています。

Q 工場誘致を積極的に行うと目標を立てているが、企業誘致はアンテナを高く張り、情報収集が鍵になる。中長期的なプロジェクトチームは考えていますか。

A 職員でのプロジェクトチームは計画にないが、各企業との連携を密にとり、特にゼネコンとの関係強化を図り情報収集に努めます。



Q 基山町の農業の未来は明るい

A 明るい芽が出てきている！



みずた ほしほ
水田 志保 議員

Q 今後の農業の進め方は。

A 今後の農業においては、農業所得の向上、新しい農業への挑戦、持続性の強化が必要であると考えております。また、現在の米価の上昇や、食料法の改正に伴う国の基本計画や県の計画を踏まえながら、基山町で農業が継続できるように取り組めます。具体的には、

・農業所得向上…酒米の地産地消、有機農産物や高収益作物（施設園芸・果樹など）の推進を行います。また、地域計画に基づく担い手への農地集積・集約化による省力化等に取り組んでいます。

・新しい農業への挑戦…有機農業などの環境保全型農業やスマート農業の推進、法人農業の誘致や育成に取り組んでいます。

・持続性の強化…猟友会との連携による有害鳥獣対策の強化、農業にふれあう機会や就農相談などの農業を知る機会の充実、共同利用組合や共同活動組織の推進、農地・農業用施設災害対応の検討に取り組んでいます。



希望の芽



Q

トレーニング室の利用増を指定管理者と協議します



なか
むら
えり
中村絵理議員

Q 総合体育館「トレーニング室」は近隣の市町より、使用料が高いと言われています。使用料値上げの元になった考えとその理由は何ですか？

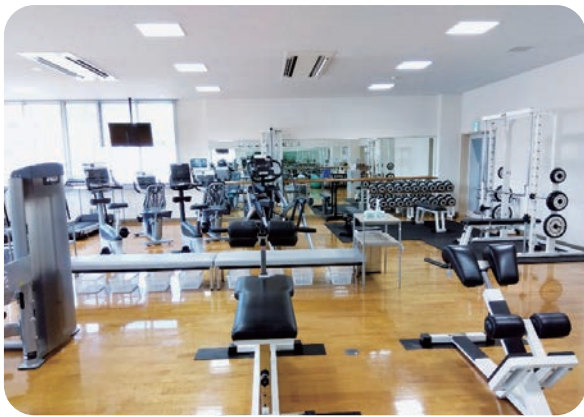
A そうであれば、指定管理者に初回講習の見直しと、職員研修の充実を求めます。

Q 町の基本方針に基づき、人件費の上昇を反映して、令和3年度に町内使用料を200円から300円に改定しました。

Q 町外は600円で利用減です。広域連携の町として再考する考えはありませんか。

A 町の算定ルールに従った結果の値上げです。ルールは守りますが、町内向けの支援策は検討の余地があります。

Q トレーナーの常駐や初回講習に不安の声もあります。今後の対応を指定管理者と共に考える必要があるのではないのでしょうか？



近隣市町をリードする充実施設

提案

トレーニング室利用環境向上のため、「利用者支援」「利用者の声の反映」「医療機関との連携」「受益者負担見直し」の4点を提案します。

Q

町道花園線、歩道等の整備を開発事業者と協議する



まつ
いし
けん
じ
松石健児議員

将来を見据えた道路整備を要望

Q 工業団地「きやまグリーンパーク」内の町道黒谷線の宮浦インター方面への延伸の検討は。

A 現時点では、整備済区間が機能しているので、未整備区間は、新たな開発など状況の変化を見極めながら検討します。

Q 町営球場前の町道花園線付近で、物流倉庫の建設を検討していますが、開発に併せて歩道整備等の検討はしないのですか。

A 地区計画（案）では、花園線側の出入口は通勤車両のみが出入りする予定です。

Q 歩行者が通行できる路側帯がほとんどありません。対策を。

A 事業者と開発許可の協議の際に、提出される図面を見て検討したいと思います。



歩行者の安全が確保されていない路側帯（町道花園線）

町内公立小中学校の日本PTA全国協議会からの脱退

Q 3校PTAの今後の連携は。

A 3校のPTA会長で連携は取れており、基山町教育委員会との教育懇談会の実施、教育施策や環境等に関する意見交換は行っています。

委員会レポート

総務文教常任委員会

防災について

大雨による災害が発生しやすい梅雨期・台風期の前に十分な対策を図れるよう、これまでの災害対応状況の確認と備蓄品保管倉庫（防災倉庫）の視察を行いました。

指定避難所および指定緊急避難所は11か所、その内保健センター等4か所が福祉避難所に指定されています。備蓄保管倉庫は役場4階2か所と町民会館北東にある防災倉庫1か所です。

災害時は職員の交代による昼夜を問わない対応が不可欠であるため、災害時の不測の事態を極力避け、職員が円滑に対応できるよう提案しました。



命をつなぐ防災備蓄

厚生産業常任委員会

交通安全・防犯対策について

町では交通安全対策の事業として、タクシー利用助成券の交付や電動カート購入費の補助、コミュニティバスの無料利用が受けられる高齢者運転免許証自主返納支援事業や、通学路点検で確認した区画線やカーブミラーなど交通安全施設の設置・修繕を行う社会資本整備総合交付事業を行っています。防犯対策については、防犯灯及び防犯カメラの設置や啓発活動を行っています。委員会としては、交通安全対策は交付金等の有無にかかわらず取り組み、また、防犯カメラを設置が少ない中山間地域の生活道路にも設置し防犯対策の強化に努めていくよう提案しました。



命を守るボラード

10/4
(土)

中学生議会



基山中の3年生が自分たちで議案を考え、討論・採決します。ぜひ聞きにきてください！

令和7年 第3回基山町議会

定例会 会期予定

9月2日（火）～19日（金）

一般質問 9月3日（水）～5日（金）

議長交際費執行状況表（令和7年度4月～6月）

支出種別	支出金額(円)	支出の相手方および行事名等	
御祝	5,000	大興善寺契園つつじ開園式	
御祝	5,038	基山モール商店街協同組合第45回通常総会	
合計件数(件)	合計額(円)	累計件数(件)	累計額(円)
2	10,038	2	10,038

新体制になりました

基山町議会では、2年おきに議長・副議長の交代時期を迎えます。今回、4月の臨時議会で新たな議長・副議長が選出され、常任委員会が下記のとおり再編成されました。

就任のご挨拶

この度、基山町議会議長に就任いたしました末次 明でございます。
基山町は、基山に生まれ育った方と移住された方が調和し、より良い暮らしを築いていると常々感じています。
議会の使命は、町民の皆様の声を政策に反映させ、大切な財源の使途を明確にすることです。基山町議会は、勇気と誠実さを持って真摯に取り組めます。そして、若い世代の皆様が「自分たちも町づくりに参画したい」と思えるような議会を築き上げていきたいと考えております。
今後ともご理解とご協力、温かいご支援を心よりお願い申し上げます。



議長
末次 明



副議長
桑野 久明



議会選出監査員 中村 絵理

常任委員会

総務文教 常任委員会

◎松石 健児
○工藤絵美子
大山 勝代
重松 一徳
大久保由美子
佐々木教雄

所管・職務

総務課 税務課
財政課 出納室
企画政策課
まちづくり課
教育委員会

厚生産業 常任委員会

◎天本 勉
○中牟田文明
松石 信男
桑野 久明
中村 絵理
水田 志保

住民課 こども課
福祉課 健康増進課
農林課 商工観光課
建設課 定住促進課
プラチナ社会政策課

広報広聴 常任委員会

◎水田 志保
○佐々木教雄
重松 一徳
桑野 久明
中村 絵理
工藤絵美子

議会広報を編集・発行し、
議会報告会などを実施する

◎委員長 ○副委員長

全員協議会

全議員

議会運営 委員会

◎大久保由美子
○大山 勝代
松石 信男
松石 健児
天本 勉
中牟田文明

編集後記

さがびより・ひのひかり・夢しずく…

これらは基山で取れるお米の銘柄です。米騒動もあり、今年のこの緑の水田風景はいつもと少し違って見えます。秋の収穫まで、病気や台風に負けず元気に育てほしい。と願うばかりです。

広報メンバーが新体制となり初の議会だより94号をお読みいただき、ありがとうございました。手に取っていただく町民の皆さんのお姿を楽しみに今後も一丸となって紙面作りに取り組みます。次回もお楽しみに！
(水田 志保)

広報広聴常任委員会

委員長 水田 志保
委員 桑野 久明

副委員長 佐々木教雄
委員 中村 絵理

委員 重松 一徳
委員 工藤絵美子